

20周年に向けドラマ制作を再開 新ジャンルの番組を次々に生み出すTVBS

台湾初のケーブルテレビチャンネルとして開局19年目を迎えたTVBS。地上波3チャンネルの寡占状態だった台湾テレビ市場に新風を送り込み、様々な新ジャンルの番組を生み出してきた。現在ではニュースチャンネルを看板に、台湾の視聴者に広く親しまれている。今年5月には、中国の動画共有サイト「土豆網(TUDOU)」と提携し、メディア業界における新たな两岸連携モデル作りを目指す。今回はTVBSの楊鳴総経理を訪ね、台湾および海外事業の概況、中国のメディアとの提携、今後の事業展望についてお話を伺った。



TVBS総経理 楊鳴氏

台湾事業のこれまでの歩みについて

当社「無線衛星電視台(TVBS)」は、1993年に台湾企業と香港のテレビ局TVBとの合併会社として設立されました。当社の参入により、台湾テレビ市場で1962年から続いた地上波3局の寡占状態に終止符が打たれ、台湾のテレビ業界では、様々なテレビ局が活発に事業展開を始めました。設立19年目の現在では、メインのTVBSに加え、TVBS歡樂台(バラエティ中心)、TVBS新聞台(ニュース)の3チャンネルを手掛けています。

開局当初は親会社であるTVB制作の香港ドラマが多数放送されていましたが、後に日本のドラマや韓国ドラマを相次いで放送し、広く視聴者の支持を受けました。また、知名度の上昇をきっかけに、自局制作のニュースやバラエティ、ドラマにも注力するようになりました。現在、当社の全番組に占める自局制作番組の割合は、台湾で2番目に高くなっています。歡樂台で香港ドラマを1日1時間放送する以外は、すべて自局制作の番組を放送しています。

TVBS新聞台は、1995年に台湾初となる24時間放送のニュースチャンネルとして始まり、視聴者から特に好評を得ています。現在台湾では、24時間放送のニュースチャンネルが計8チャンネルありますが、このジャンルを作りだしたのは当社です。親会社のTVBの主力は香港ドラマであり、TVBSの看板はニュースです。

新ジャンルの開拓について

先ほど取り上げた24時間放送のニュースチャンネル以外

にも、TVBSはテレビ業界における新しいジャンルの開拓に積極的に取り組んでいます。

1994年から制作している政治討論番組「2100全民開講」は、生放送中に視聴者からの「生電話」を受け付け、司会者やゲストが視聴者と直接やり取りする形式をとっています。これはTVBSを代表する番組となり、他社もこの形式を用いた番組に次々と参入しました。

「娛樂新聞」も新しい形のバラエティ番組です。台湾初となる、報道形式を用いて芸能界の動向を伝えるバラエティ番組で、1994年8月15日のスタートから、3,756回分が制作、放送されました。1996年スタートの「女人我最大」についても、女性のファッションコーディネーターやメイクアップの紹介を中心とする内容で、台湾を代表する番組です。長寿番組として女性からの好評を得ていると同時に、2005年11月からは同名の雑誌を出版しています。創刊号は16万部を売り上げて大きな話題となり、現在までに計27号まで出版しています。

海外事業の展開について

TVBSは、1997年に有料のTVBS-ASIAチャンネルを開局し、香港、シンガポール、マカオ、マレーシア、オーストラリアの計6カ国・地域で放送されています。総合チャンネルとして、番組の3分の2がTVBSの自局制作で、残りは他社が制作したバラエティ番組やドラマを買い付けてチャンネルを構成しています。

中国のテレビ局との交流も長年続いています。当社の記

台湾トップ企業

者は、1997年から北京に駐在して取材を行っています。また同時に、中国のCCTVが2001年から台湾に進出し、TVBSビルに拠点を構えています。2008年には中国の地方局と契約し、台湾で制作したニュースを中国に提供しています。当社初の中国へのコンテンツ販売ですが、現時点ではニュース番組に限られています。

中国動画共有サイトとの提携とそのメリットについて

当社は今年、中国の「土豆網(TUDOU)」と提携し、中国企業との新たな提携事業が始まりました。今年3月から土豆網で、人気バラエティ番組の「女人我最大」とグルメ旅番組「食尚玩家」が放送されています。同時に、土豆網が制作するバラエティ番組「哈林哈時尚」を5月からTVBS歡樂台で放送しています。このような流れから、同月にTBVSと土豆網の双方で正式に戦略提携を交わし、台湾海峡兩岸をつなぐ新たなメディアの提携モデルを打ち立てました。また、中国の2大動画共有サイト、土豆網と優酷(Youku)は今年3月に株式交換にて合併し、「優酷土豆股份有限公司」となりました。当社と土豆網の戦略提携は、この新会社にも適用されます。

提携のメリットについては、大きく分けて2点あります。まずは、中国の動画共有サイトの規制はテレビに比べ緩やかで、外資の出資にも上限がない点です。テレビ放送に関しては、ゴールデンタイム(19時から22時まで)における外国ドラマの放送禁止や、全ドラマ放送時間における外国ドラマの割合が25%に制限されているなど、細かい規制がたくさんあります。また、中国の動画共有市場の規模もメリットの一つです。土豆網は1億人近くのユーザーが利用しており、2011年の月間平均再生回数は52億回にも上りました。テレビなど他のメディア媒体に比べてアクセスしやすく規制も少ないことから、台湾メディアコンテンツの中国市場参入の新しいリポートとなっています。

今後の展望について

当社では、2008年に経営の戦略的判断からドラマの自局制作を一旦中断していました。しかし近年、台湾の新作ドラマがヒットしている状況の下、台湾のドラマ市場が制作側、

視聴者側の両面で成熟したとみており、2013年からドラマの自局制作再開を計画しており、土豆網でも放送を開始する予定です。

ドラマに注力する主な理由として、ニュースとドラマの収益性の違いが挙げられます。当社は、ニュース番組の分野で、視聴率1位をたびたび獲得するなど、視聴者から高い評価を受けています。しかし、ニュースは再放送ができず、収益性において再放送や関連商品の販売などの周辺経済効果も見込めるドラマには及びません。ドラマの自局制作において、TVBのドラマ制作ノウハウと、当社の台湾での事業展開ノウハウを活かせると考えています。

その他に、TVB、上海文広新聞伝媒集団との3者間協力も計画しています。当社とTVBの番組の中国輸出を考える中で、TVBは広東語の番組が多い一方、中国と同じ標準中国語を使っている当社の番組は参入障壁が低く、中国の視聴者には比較的受け入れられやすいでしょう。また、中国では2008年から、台・中合作のドラマを国産の番組として扱うようになり、ゴールデンタイムで放送する事ができるようになりました。

このように、台湾のメディア業界の新たな活路として、中国へのコンテンツの輸出や中国との連携によるコンテンツ制作に今後も注力していくと共に、中国の各メディア媒体との提携関係強化にも努めていきます。

ありがとうございました。

無線衛星電視台(TVBS)の基本データ

会社名	聯意製作股份有限公司
設立	1993年
董事長	張孝威
資本金	8億8000万元
社員数	約1,000名(台湾)
事業内容	テレビ放送、テレビ番組制作、雑誌等の媒体運営

注) 2012年7月時点のデータによる。
出所) 公開資料及びヒアリングよりNR1整理